

## ■ グリーンアジア専任教員のメッセージ



九州大学  
グリーンアジア国際リーダー教育センター  
学術研究員・特任教授（九州大学名誉教授）

### 中尾 安幸

願わくは、支援期間終了後も、コース生が修了してしまった後も、本プログラムの理念や経験が総理工をはじめとする学府の教育に引き継がれていきますように。また先生方におかれましては、時にはプロジェクトや管理・運営を忘れて、学生指導からも離れて、ご自分の学問研究に没頭される、そのような時間が増えますように。

最後に、貴重な機会を与えていただきましたこと、事務局スタッフの方々から暖かいご支援を頂きましたことに心より感謝します。有り難うございました。

定年退職後ブラブラしていた時に原田先生・谷本先生に声をかけていただき、2014年の3月から5年間本プログラムの運営に関わらせていただきました。教育プロジェクト推進の裏方という役割は、最初は戸惑うところもありましたが、現役の頃とはまた一味違ったもので実に貴重な経験でした。リーディングプログラムへの応募に当たり「グリーンアジア国際戦略プログラム」というイノベティブな概念を創出された先生方の先見性に改めて敬服します。



九州大学  
グリーンアジア国際リーダー教育センター  
准教授

### 古野 裕史

リーダーの養成を目指した教育プログラムですが、そのためにコース生は自身の研究活動に加えて様々な人文・社会系科目、実習・演習、インターンシップなどに英語で取り組むことを求められ、大きな負担となったかもしれません。しかしながら彼らがこれらに積極的に取り組み、大きく成長していく様子を目の当たりにして、プログラムに携わる立場として嬉しく、また同時に羨ましくも感じました。私自身も他の研究分野、特に人文・社会系の研究方法や考え方に触れることができたのはとても貴重でしたし、これほど国際色豊かな環境に身を置くのも初めてで、多くの勉強をさせていただきました。甚だ力不足だったと思いますが、僅かでもプログラムに貢献できたのなら嬉しい限りです。

グリーンアジアプログラムは今後も新しい博士課程教育プログラムとして、ひとまず総合理工学府内で発展的に引き継がれることが決定しています。特定の狭い専門領域に限定されず、幅広い素養を身につけた人材の育成を目指した大学院教育は貴重だと思います。今後の発展を祈念致します。

平成25年3月よりグリーンアジアプログラムに携わる機会をいただきました。それまでは研究センター及び研究所の助手・助教として研究活動を通して研究室所属の学生を指導することが専らでしたので、この6年間は初めて本格的に教育活動に向き合い、且つカリキュラムを改善、更新しながら大学院教育に直接関わるという貴重な経験をさせていただきました。

本プログラムは理文融合をコンセプトに国際的に活躍できる理工系



九州大学  
グリーンアジア国際リーダー教育センター  
助教

### 折本 裕一

養を身に付けていく様子をタイムリーに見てきました。研究一辺倒になりがち（ならざるを得ない）大学院での5年間を、研究を一流のレベルに保ちながら、座学・実習・研修・インターンシップ（企業、海外留学を含む）を通じて、語学はもとより第2・第3の副専攻、そして社会学・経済学なども包括的に身につけた学生は、第一線の研究基盤のうえに産業・経済を牽引する能力を持った人材であることは間違いなく、そのような教育に関われたことを誇りに思います。特に窓口として関わった実践産業科目「プロジェクトマネジメント」では千代田化工建設株式会社から産業界の第一線で活躍されている講師をお招きし学生とともに貴重な講義（意見が飛び交うまさに実践的講義）を拝聴したこと、強く印象に残っています。文科省からの支援期間は終了しますが、グリーンアジアのスタートアップの期間が終わり、教育の仕組みはすでに成熟の域に達しており（はじめての修了生を出すまでは試行錯誤の連続でしたが）、今後も九州大学の支援の下、グリーンアジアの優れた教育の仕組みが継承され、さらに発展すること、そしてその理念が日本全国に波及することを切に願っています。これからも現在在籍しているコース生が次々と修了していきますが、これらグリーンアジア出身者の5年後、10年後の活躍（もっと早いかもしれません）を聞き及ぶ日も遠くは無いと思ひ、楽しみに待ちたいと思います。最後に、グリーンアジアに関わっていただいた全ての方に心より感謝申し上げます。

### グリーンアジア教育に携わって

グリーンアジア国際戦略プログラムも7年目となり、第1期生、第2期生と修了を迎え、グリーンアジア教育の成果が実りつつあります。私自身、5年以上この場所で教育と企画・運営に携わり、その間、入コース時点でさえ選抜され優秀な学生が、厳しいステージゲートをクリアしていく度にさらに成長し、最後にはリーダーとしての人格、素